

Join!

長門湯本観光まちづくり
みんなの力で湯ノバージョン

成長戦略推進課 TEL 23-1234
長門湯本みらいプロジェクトHP
<http://yumoto-mirai.jp/>

懐かしの湯本フォト



写真提供：湯本まちかど資料館館長 吉富尊一

みんなのでつくる夜の温泉街

温泉街の景観づくり

長門湯本温泉観光まちづくり計画では「全国温泉地ランキングトップ10入り」を目指しており、魅力的な温泉街となるため、景観づくりにも取り組んでいます。

風情ある温泉街に欠かせない魅力のひとつ、それは「夜間景観」です。歩いて楽しめる夜の温泉街には「あかり」の演出が欠かせません。長門湯本温泉では、地域の資源に光をあてて景観を演出することで、美しさや感動を与える風景や、明るさを確保することにより安心安全に夜の街を歩くことができるような夜間景観をつくることを目指



▲住民ら自らが「湯本提灯」を取り付け

しています。

昨年秋に行われた社会実験では3週間にわたり、川床や屋台、音信川に架かる橋、護岸、路地の石積みや植栽などに加え、もともとある自然などの地域資源を照らすことによって、劇的に観光地を変える力が「あ

かり」にあることが実証されました。

しかし、夜間の風情の演出は公共空間のみでできあがるものではありません。良好な景観づくりにもついで、行政や地域住民、事業者などがそれぞれの役割を果たし、一緒に取り組んでいくことが必要です。

その取組の一環として、住宅や商店の軒先に、湯本温泉をデザインした「湯本提灯」の設置が進んでいます。

地域と行政がともに取り組むことで、素敵な温泉街の形成に向けたあかりがひとつひとつ灯り始めています。



▲音信川に架かる橋は「あかり」により幻想的な空間に

まちづくりの
キーパーソン



《略歴》

1966年生まれ。照明デザイナー、株式会社L E M空間工房代表。趣味は世界あかりの旅、特技は超ポジティブ思考

「あかり」で長門湯本の夜をデザインする

ながまち
長町 志穂 さん

(長門湯本温泉観光まちづくり
デザイン会議 照明担当)

これまで、照明を使った空間演出として神戸市のフラワーロードやメリケンパークなどさまざまな公共空間の夜間景観デザインに取り組まれてきた長町さん。長門湯本温泉では「あかりの重要性やチカラ」を伝え、「最も長門湯本の魅力を高める夜間環境」のデザインの構築に取り組んでいます。

「夜の滞在は食事や宿泊など地域に経済的な効果を与えるので、世界中で夜間景観に力を入れるまちが増えていく」と長町さん。橋や古民家などの地域資源を「あかり」を変えることで

魅力を上げ、住民がまちの歴史や魅力を再認識できるほか、観光客にはまちを知ってもらうことができると話します。

長門湯本温泉では照明を使って、音信川で音や風を楽しみ、佇みたくなる川の夜景づくりや、昔からの家々やまち並みなどまち全体が優しい風景のステージとなる環境づくり、本物のスマートシティづくりなどへの取組に意欲を見せており、「他に類を見ない大きなプロジェクト。自分のできるベストを尽くしたい」と意気込みを語ってくれました。